指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム長沢壮寿の里	評価対象年度	平成28年度
事業者名	·事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ·代表者名 理事長 長谷川 忠司 ·住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日~平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

	住所 川崎市高津区久地3-13-	-1						
指定期間	平成28年4月1日~平成33年3月31	 日		所管	課	健康福祉局	長寿社会部高齢者事業	连推進課
2. 事業実績								
2. 予永久帳	①特別養護老人ホーム事業	美(入所定員 53人)						
	在籍者数 47人(平成29				·)			
	介護度 要介護1 要介護2				合計			
	利用者数 0 3	8 17	19	0	47			
		== ()						
	②通所介護事業(通所定員		1 == +2++4-1	0011.	今旦に	出土フむ	掛本C4 00 /	
	(1)1単位:5~7時間(定員 4月	30人):年间些个利 5月 6月	J用有数5 7月	<u>981人:</u> 8月	<u> 疋貝に</u> 9月	灯り () 稼(鄭 9 4.9 %	
	延べ利用者数 511	525 514	499	500	9月 491			
	10月	11月 12月	1月	2月	3月			
	延べ利用者数 507	525 459	452	469	529			
利用実績				•		!		
小儿儿大顺	③短期入所事業(通所定員							
	年間延べ利用者数3,88					İ		
	4月	5月 6月	7月	8月	9月			
	延べ利用者数 363		317	369	332			
	10月 延べ利用者数 296	11月 12月 305 334	1月 255	2月 246	3月 405			
	延、利用有数 250	303 334	200	240	400			
	④居宅介護支援事業							
	給付管理者数(平成29年	3月分)						
		要介護2 要介護4 男	要介護5	その他	合計			
	管理者数 32 19	7 2	5	0	65			
		7						
	①特別養護老人ホーム事業[(収入)	_		(支出)				
	介護料収入	165,157,574	Γ	人件費			150.07	12,610
	利用者等利用料収入	24,139,470		事業費				73,100
	その他の事業収入	40,309,040	-	事務費				38,151
	合計	229,606,084		合計				53,861
	LI FI	220,000,001	L	(収支差額))			52,223
	②通所介護事業						,	,
	(収入)		((支出)				
	介護料収入	45,282,331		人件費			50,17	71,995
	利用者等利用料収入	3,755,800		事業費			7,93	39,469
	その他の事業収入	9,222,061		事務費				38,209
	合計	58,260,192		合計				19,673
			,	(収支差額))		▲ 9,78	39,481
	③短期入所事業			(±111)				
	(収入)	97 997 991	, ·	(支出)			05.00	OF CEO
ales de sebes deba	介護料収入	37,327,931		人件費			,	95,650
収支実績	利用者等利用料収入 その他の事業収入	6,319,060 7,000		事業費事務費				30,579 35,468
	合計	43,653,991	F	合計				41,697
	ЦП	10,000,331	L	(収支差額))			2,294
	④居宅介護支援事業						5,11	, 1
	(収入)			(支出)				
	介護料収入	11,048,005	Γ	人件費			14,48	33,514
	利用者等利用料収入			事業費				09,402
	その他の事業収入	4,836,711	F	事務費				28,800
	스킬	15 004 716		△計			15.99	21 716

(収入)

合計

介護料収入	258,815,841
利用者等利用料収入	34,214,330
その他の事業収入	54,374,812
合計	347,404,983

事務費 728,800 合計 15,321,716 563,000 (収支差額)

(支出)

人件費	240,693,769
事業費	50,782,550
事務費	54,390,628
合計	345,866,947
(収支差額)	1,538,036

サービス向上の取 組

○介護予防・日常生活支援総合事業への移行や総合事業について、学習会、事業所としての取組みの説明会等を開催し、制度改正に向けて利用者、関係機関、地域に周知した。パワーリハビリテーションの体験会を実施し介護予防について理解を深めるなど利用促進に向けた取組を各種実施している。 ○権利擁護に重点的に取り組み、自己点検シートの活用により職員の資質の向上、サービス向上のための業務改善に努めて

○第三者評価や介護相談員の施設訪問により明らかとなった課題等には即時対応し、適切な業務改善につなげている。

15,884,716

3. 評価

業

務 実

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
		利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか			
	質の高いサービスの提 供	利用者等への情報提供等は十分に行われているか	10	4	8
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
適	() () () () () () () () () () () () () (感染症への対策は適切に行われているか	10	4	8
正				•	

(評価の理由)

ニーズに応じて緊急の短期入所利用も受け入れている。利用者が在宅生活に戻った時に介護者の助けになる介護用品や食形態、栄養補助食品の情報提供を積極的に行い在宅時にも実践してもらうように促し、利用者の隠れたニーズの発掘と在宅生活の維持に貢献してい

看取りについては、看護師のオンコール体制と嘱託医への連絡体制の整備、また、慰霊祭を実施し、亡くなった後も、家族と職員との懇 談の場をもつなど家族のフォロー体制にも努めている。

第三者評価を受審し、PDCAサイクルの対応を評価された。評価結果について、法人のホームページに公表している。

ボランティアの受け入れは年間延べ1800人。毎年ボランティア交流会を開催している。地域交流の行事も多数行い、近隣の大学等、ボラ ンティアの新規開拓も積極的に行っている。

協力病院と歯科が定期的に健康診断、訪問診察している。口腔ケア、立位・歩行に重要なフットケア(爪の処置等)もボランティアの協力も 得ながら継続している。

感染症予防対策マニュアルについて、多摩保健所と相談しながら実態に合わせた手指消毒薬などの見直しを行った。

	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	
		支出に見合う効果は得られているか			4
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
収支	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	- 5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			3
	適切な金銭管理・会計 手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	- 5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			3
	収入の確保 適切な金銭管理・会計	収入増加のための具体的な取組が為されているか収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5		

(評価の理由)

績

職員の労働災害の防止及び業務の負担軽減の観点から、川崎市経済労働局より福祉製品導入補助金を受け、福祉用具を購入し業務 の効率化と職員の安全につなげている。

平成27年度に併設の高齢社会福祉総合センターと共同でガスメーターのデマンドメーターを設置してガス料金を削減。冷温水発生機の チューブ洗浄をして電気料金の縮減を図った

川崎市介護予防通所型複合プログラム事業の終了に伴い平成28年8月から介護予防短時間通所サービス事業を開始し、利用者が増加 し、併せて収入も増加している。 施設会計と利用者預かり金については、それぞれ別の担当者を配置し、明確に区別し厳重に管理している。

法人内の社会福祉法人新会計基準に基づき適正な会計処理に努めている。

	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか	10		0
		サービス向上のための取り組みがなされているか			
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか	10	3	6
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか	10	4	8
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			

(評価の理由)

特別養護老人ホームでは、利用者の重度化が進む中で様々な行事を取り入れた意欲の引き出し等、個別ケアの向上に取り組み、職員に

よってケアに差が生じないよう更に詳細なマニュアルを作成してケアの標準化に努めている。 介護予防・日常生活支援総合事業への移行や総合事業について、学習会、事業所としての取組の説明会等を開催し、制度改正に向けて利用者、関係機関、地域に周知した。パワーリハビリテーションの体験会を実施して介護予防について理解を深めるなど利用促進に向け ての様々な工夫が評価できる。

権利擁護に重点的に取り組み、自己点検シートの活用により職員の資質の向上、サービス向上のために業務改善に努めている。

通所や居宅事業において、生活者としての利用者理解に努め医療機関、関連機関と積極的に連携、情報共有を図っている。 第三者委員会、外部の苦情受付窓口があることが周知されていなかったことや認知症が重度化した利用者に対する職員の処遇態度等、 第三者評価や介護相談員の施設訪問(9月から2月までの計6回)により明らかにされた課題を真摯に受け止め即時対応、適切な業務改善

居宅介護支援センターに対し「障害についての理解を深めてほしい」という意見が寄せられたことから、地域の高次脳機能障害者の集まり である「カサブランカの会」に参加して、障害のある方やご家族への理解を深め、さらに内部研修を行い施設全体で共有した。

業 務

		必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか			
	適正な管理体制の構築	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	5	3	3
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認 が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか (人員配置、マニュアル、訓練等)			
	安全・安心への取組	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か	5	4	4
組織管		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
管理		個人情報の管理は適切に行われているか	J	4	4

(評価の理由)

認知症、看とり介護等に備え、精神科、内科の嘱託医を配置。介護職員について、重介護に対応するため負担増となる時間帯に短時間 勤務職員を確保、加配している。

給食業務について、毎日、施設の管理栄養士と委託業者の職員でミーティングを行う他、給食委員会に委託業者に出席してもらい、意見

交換をし、円滑な業務に努めている。 研修委員会が年度当初にたてた研修計画に基づいて研修を行う。内部研修16回の中で行った2回のスキルアップ目的の研修には地域 からも参加者を集い、地域貢献も合わせて行った。介護職員初任者研修講師、地域の研修講師の派遣を行い、講師自身のスキルアップに もつなげた

事故防止等は規定のマニュアルに従い、適切な対応に努めている。救急対応に迅速に対応できるよう「救急隊への入所者情報提供書」 を医務室に整備している。

コンプライアンスについて、チェックノート」というイラストが多い小冊子を使用する等工夫しながら4回研修を行い職員への理解の浸透に

施設・設備の保守 清掃、警備等 適 正 な 施	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか			
	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。		3	
	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			6
	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	10		
	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
1				

(評価の理由)

施設設備の管理、警備、清掃業務については、併設されている高齢社会福祉総合センターと定期的に庁舎管理会議を開き、施設の計画的な修繕及び維持管理に努めている。

事業毎に業務日誌を作成して、利用者の記録はパソコンを利用して入力、介護ソフトに反映させて業務の合理化を図っている。記録には

パスワードを設定して管理している。 設備の維持・管理については長寿命化を意識しながら早めに改修・修理できるところを把握できるよう充分な保守・点検、また、利用者の 生活に支障がでないよう委託業者と信頼関係を築きながら適切な環境維持に努めている。

ボランティア、近隣の方、御家族などの協力も得ながら、定期的に植栽の手入れをしている。 消耗品等については現場の職員も業者と話し合い、施設の環境や利用者に合った商品情報を集めて発注作業を行っている。

4. 総合評価

管

評価点合計	73	評価ランク	В
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

大変多くのボランティアの理解、協力を得ながら、地域との信頼関係の構築・維持につながる取組にも力を注ぎ、地域への貢献を強く意識した施 設運営を行っている。さらには大規模災害にも対応できるような、施設のBCP(災害時等事業継続計画)をより充実させるという取組にも期待する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし